

抗菌薬を処方する前のCheck-list

ステップ 1

細菌感染が疑われる

Check!



ステップ 2

検体を採取し、グラム染色を行う

➡ 検体は薬剤感受性検査用にも採取をし、検査をしましょう。

ステップ 3

グラム染色の結果から適切な一次選択薬を選択する

➡ 動物用医薬品一覧や病院毎のアンチバイオグラムを参考にしてください。

ステップ 4

抗菌薬投与後も症状の経過を観察し、適切な抗菌薬への見直しを行う

➡ 薬剤感受性検査の結果により、効果のある抗菌薬を選択してください。

➡ 再度検体を採取し、グラム染色を実施すれば抗菌薬の効果が確認できます。

抗菌薬の投与が不要な場合の例

- ウイルス性疾患の可能性が高く、二次感染がない場合
- 健康動物への予防的投与(歯石除去や歯磨き、交尾前や離乳時)
- 汚染のない外科手術の術後感染予防

Don't forget...



院内感染を防ぐために

～動物から動物、動物と人の感染を防ぐ～

手指衛生

手洗いを行うタイミング
健康/病気動物に触った後
糞尿、血液、組織液等に
触った後
手袋の着用前後
自身の食事や喫煙の前

指輪、マニキュア、
つけ爪は避けましょう。
細菌の温床になります。

手荒れ予防の
ためのケアも
忘れずに



石けん、アルコール

手袋、防護衣の着用

病原体から身を守る
汚染リスクが高い場合



手袋、ゴーグル、マスク

手術室では

手術室入室する全員が
術衣、術帽、マスクを着用
手術室は手術専用にし、
バリカンによる毛刈りは別室で

診察着から着替えて
手術室に入りましょう。



清潔な手術室、滅菌された器具

院内環境の清浄化

白衣や診察衣は毎日洗濯
診察台、ドアノブ、キーボード
やマウス、聴診器の消毒

聴診器に
耐性菌が付いていた
という報告も



洗濯機・高熱乾燥機、消毒薬

院内スタッフ全員の実行により、ウイルスや病原細菌、薬剤耐性菌などの院内感染を防ぎましょう



農林水産省

